

# ノートルダム清心女子大学国際教育研究会

## 2021年12月 クリスマス特別号

2021年もクリスマスシーズンを迎えています。しかしながら今年もまだ新型コロナウイルス感染症が世界を席巻していて、今年もどちらかといえば、静かなクリスマスとなっていますが、落ち着いた心温まるシーズンになって欲しいと願っています。

地球上では、日本と向かい合った位置にある南半球のブラジルから、ノートルダム清心女子大学国際教育研究会アドバイザー加藤浩水氏がブラジルの真夏のクリスマスについてのご紹介とメッセージを寄せてくださいましたので、「ノートルダム清心女子大学国際教育研究会 クリスマス特別号」としてお伝えいたします。(写真 西井撮影 リオデジャネイロの大聖堂)



2021年12月

西井麻美（ノートルダム清心女子大学国際教育研究会会長）

### 南半球ブラジルのクリスマス

加藤浩水（国際教育研究会アドバイザー 在リオデジャネイロ）

#### 🌿 ホワイト・クリスマス！？

南半球のクリスマスは、真夏のクリスマスです。生まれてから一度も雪を見たことがない人も沢山います。それなのに、多くの人が真夏のクリスマスが近づくと未だ見たことのないホワイト・クリスマスに憧れ、赤鼻のトナカイの牽くそりに乗ったサンタ・クロースを夢見るのです。

そんな雪への憧れからでしょうか、ホワイト・クリスマスに憧れた友人は、自分の庭に小さなコーヒーの苗を植えたのです。それは、コーヒーの花は、エーデルワイスの花のように雪の白さだと知って、真夏のブラジルならではのホワイト・クリスマスを実現しようと思いついたからです。

彼には、コーヒーの苗を植えれば、白い花が必ず咲くという確信がありました。なぜなら、1500年にブラジルを発見した探検家カブラルの船団に同行したペロ・バス・デ・カミニャが、ドン・マヌエル国王に宛てたブラジル発見報告書の中で、

“友好的な先住者は、恵まれた自給自足生活を楽しんでおり、  
ブラジルが豊かな国である証拠として、

此処では、地に植えたものは、何でも豊かに実る”と書いていたことを知っていたからです。

その報告書の言葉通り、友人の植えたコーヒーに、白い花が咲きました。

何も手入れもせずほっておいても、このように可憐な白い花をつけるブラジルは、本当に神に見守られた、自然の恵み溢れる国です。その友人から、今、この白い花が、青い実になったとの報告もありました。

きっと、青い実もやがて赤くなり、香り豊かなコーヒー豆に変身するに違いありません。そして、皆でコーヒーの一滴一滴を分け合って自然の恵みに感謝することになるでしょう。



(写真 加藤浩水  
友人の家に咲いた  
コーヒーの花)

## 🏠多民族国民による多文化のごちそう

ブラジルのクリスマスは、家族揃って天の恵みと、地の栄とを寿ぐ一年で最も大切な季節です。ブラジルの人達は、どんなご馳走を用意して、クリスマスを迎えるのでしょうか。

ブラジルは、世界中の国の人々が、それぞれ希望を持って移住し建設した国ですから、そのお祝いの仕方も様々です。お料理を例にとると、ブラジルのクリスマスでは、各家庭にその家庭の故郷のご馳走が並ぶ風景があります。でも、どうやら、近年では、ブラジルのクリスマスに欠かせないご馳走というものが、決まってきたように思われてなりません。

世界中で、クリスマスのご馳走といえば、ローストした七面鳥、鶏の丸焼き、豚のももの丸焼きが一般的ですが、ブラジルでは、このようなロースト料理に加え、干鰯がクリスマスに欠かせないご馳走となっています。

干鰯をつかったお料理は、恐らく、ポルトガル、スペインの一般家庭の料理から来たのでしょうか。干鰯を水にもどして、野菜と一緒に茹でてオリーブ・オイルとお酢で食べる料理の原点とも言えそうな一皿、或いは、干鰯のグラタンなどが、定番になってきています。

さらに、デザートに欠かせない品々といえば、イタリー伝来のパネトーネ。

そして、フランス・パンで作った、皆大好きなフレンチ・トースト、これを、ハバナードと呼んで皆楽しみにしているのです。

ブラジルのお袋の味とも言える、カスタード・プリン。

そうそう、スペイン系の友人のお宅では、ご馳走として、日本の蛸ご飯と同じような、蛸のピラフも出てきます。

ある日系人のご一家は、親類縁者揃ってクリスマスをお祝いしますが、このようなお祝いの席には、絶対欠かせないお料理があります。それは、しらたきとキュウリの和え物です。この一皿を、“長生き魔女の白い毛の サラダ”と呼んでいることを付け加えます。

このように、ブラジルのクリスマスは、多民族国家らしい多文化なご馳走が並び、和気あいあいと皆でいただく柔和な季節でもあるのです。

🔔メリー・クリスマス、良いお年をお迎え下さい。



(写真 西井撮影 ブラジルのデザート)

「ノートルダム清心女子大学国際教育研究会 2021年12月 クリスマス特別号」

発行 : ノートルダム清心女子大学国際教育研究会

発行日 : 2021年12月21日

連絡先 : 〒700-8516 岡山市北区伊福町2丁目16-9 ノートルダム清心女子大学内  
(086) 252-1155 (代表)